

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。



平成28年
5月25日
発行
第233号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門1-16-11茶乃木ビル5F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 河崎勝自

—平成28年度— 第1回中央委員会開催 夏期手当22割+一律3万円を要求

五月十五日、十六日の両日、千葉県船橋市「クロス・ウェーブ船橋」において全国より中央委員及びオブザーバー等九十七名の参加のもと、平成二十八年度第一回中央委員会が開催された。初日は中央委員会に先立ち、部会及び専門部会が開催され、翌日の中央委員会では、議題である平成二十八年度ベアや夏期手当等について審議が行われた。

一日目は中央委員会に先立ち、部会(組織・教宣・調査)並びに専門部会(病院・血液センター・女性部)が開催され、今年度の活動方針の審議や情報交換が行われた。

翌日の中央委員会は、出席中央委員二十六名、委任状二名で成立が確認された後、議長に松本良樹氏(今津日赤)、副議長に川原猛氏(盛岡日赤)、書記に山森雅大氏(名一日赤)が選出され、議事に入った。

まず、山本中央執行委員長が挨拶に立った。

「この四月に発生した熊本地震においては、被災された方々に心よりお見舞い

と、四月の月例経済報告によると、『経済はこのところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いており、消費物価は緩やかに上昇している』とされている。連合は四月二十九日、今春の四月下旬時点の回答集計を発表した。ベアと定期昇給を含めた平均賃上げ率は二・〇三%となり、前回四月中旬時点の二・〇六%を下回ったが、連合では賃上げの流れは継続しているとの認識を示している。

ただ、春闘では例年、大企業製造業の回答が先行し、その後、中堅や中小企業の回答が集まることから、後半になるにつれ賃上げ率が落ち込んでくる可能性があるため、今後も世間の動向を注視していかなければならない。

日本赤十字社においては、三月十六日に開催した第一回団体交渉において、本社は、『残念ながら平成二十七年予算どおりに進んでおらず、三月末の決算を見ないと具体的な数字はわからないが、昨年に引き続き、特に医療に関して厳しい状況にあると言わざるを得ない』と発言した。



六月二十五日・二十六日、場所は宮城県岩沼市開催、講師は明治大学法学部講師・松岡二郎氏。

【幹事研修会】九月十一日または十二日、テーマは「初心者研修会」IIプロック単位で開催。助成金等については例年どおり。

【調査部】平成二十八年度調査事項を決定。昨年の調査項目に加え新たな項目として「感染・医療安全研修会(必須)」について「当直について」を追加調査。

- 【第二十八年度中央委員】
- ◎印は代表中央委員、闘争委員を兼ねる
- 【第一プロック】(三名)
 - ◎川原 猛(盛岡日赤) 教
 - 佐藤田峰(福島日赤) 組
 - 中堤大介(青森血七) 調
 - 【第二プロック】(八名)
 - 岡田真由美(芳賀日赤) 教
 - ◎阿迎井功(大津日赤) 組
 - 呉 和英(那須日赤) 調
 - 高橋祐太(足利日赤) 調
 - 平井 功(前橋日赤) 組
 - ◎星野哲也(原町日赤) 組
 - 小林将也(桑野日赤) 教
 - 二橋智郎(浜松日赤) 教
 - 田中邦明(千葉血七) 調
 - 【第三プロック】(九名)
 - 佐々木伸一(飯山日赤) 調
 - ◎中村和司(名一日赤) 組
 - 山鹿 彰(名一日赤) 調
 - 山森雅大(名一日赤) 教
 - 小野木学(名一日赤) 調
 - 【第四プロック】(一名)
 - ◎阿迎井功(大津日赤) 組
 - 【第五プロック】(六名)
 - 西村清孝(鳥取日赤) 組
 - 大淵賢一(鳥取日赤) 教
 - 江里陽介(岡山日赤) 調
 - 高橋佐和子(岡山日赤) 組
 - ◎柏 裕輔(三原日赤) 教
 - 梶谷 充(三原日赤) 調
 - 【第六プロック】(二名)
 - ◎松本良樹(今津日赤) 調
 - 鬼塚俊行(嘉麻日赤) 組

るが、この署名簿数は今後の交渉に重要な意味を持つものと確信しており、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

その後、各部会・専門部会・一般経過の報告が行われ、審議事項では今年度ベアや夏期手当等について審議が行われた。

なお、十五日の懇親会には、日赤千葉支部の大野事務局長並びに千葉県赤十字血液センターの小泉事務局長にご臨席いただき、ご挨拶を頂戴した。

【女性部】女性に特化した議題として産休・育休・時短の取扱いを中心に意見交換した。専門部会報告において、「薬剤師の抗がん剤のミキシング業務」「看護師の十二時間勤務」について質疑が行われた。

【審議事項】

一、本年度ベアについて各プロック会議での審議結果が報告され、大会決定どおり、定昇込み三・〇%(二万千円)で承認された。

二、夏期手当について

【統一要求額】

二二割十一律三万円

【統一要求日】本部一任

本部は五月二十三日(月)を指している。

【ネットワークのセキュリティ対策】

○災害救護班活動の振替等の対応について

○日赤における健康保険組合の設立について

病院部会では 職種別に情報交換

【報告事項】

一、各部報告

【組織部】

新人組合員の獲得について意見交換。オリエンテーションの開催、他組合員や非組合員との差別化、若い世代の加入による組合活性化、存続の難しい単組へのテコ入れなど。また、筆頭組合として引き続き組織率の維持向上を図っていく。

【教宣部】

○研修会の開催について

【病院部】

資料として「赤十字医療施設運営等に係る実施方針」を配布。職種別に分かれて意見交換が行われ、懸案事項については七月の医療事業部との労使協議会で協議していくこととした。

また、病院看護師においては、昨年に引き続き別会

場を設け、認定・専門看護師の処遇及び時間外研修等の取扱いについては、今年も継続して労使協議会の議題とすることとした。

今後、七月下旬に病院看護部会を開催し、その後プロック代表者を中心にプロック会議等の機会を活用して協議を深めたいと、十月の本社看護部との労使協議会に臨むことになる。

【血液センター部】

資料として「平成二十八年度事業計画」を配布。今年度要求書の四項目について意見交換、協議が行われた。また、今年度も十月に再度血液センター部会を開催することとした。



の完全実施と人材育成の引上げと
老後保障の充実
充実と
ある職場環境の実現

【研修会の開催について】

○単組新任役員研修会

【研修会の開催について】

○単組新任役員研修会

単組新任役員研修会

6月25日(土)～6月26日(日)
宮城県岩沼市北長谷切通1-1
「モンタナリゾート」
演題：組合活動と労働法



